



9月8日(日)
陸上自衛隊竹松駐屯地



第6回

大村市総合防災訓練を実施しました

関係機関や市内の団体、事業所、主防災組織など、21団体、約730人が参加して「総合防災訓練」を実施しました。

訓練は大規模災害が発生したという想定で、各機関が連携して一刻も早く対応できる体制づくりと、地域住民の避難体制の確立を目指して行いました。参加した皆さんには真剣そのもの。普段見ることができないヘリコプターや消防車、自衛隊の特別車両なども登場し、救助訓練や消火訓練、災害復旧訓練など本番さながらの訓練に、見学に訪れた皆さんは、改めて防災意識の大切さを実感しました。

訓練参加団体・協力企業(順不同)

大村消防署	九州電力
大村市消防団	長崎県建設業協会
県防災航空隊	九州ガス
大村警察署	大村市危険物安全協会
海上自衛隊第22航空群	大村市女性防火クラブ連絡協議会
陸上自衛隊第16普通科連隊	向陽高校看護専攻科
陸上自衛隊第7高射特科群	自主防災組織
日本赤十字社	大村市
大村市赤十字奉仕団(市連合婦人会)	高瀬建設
日赤無線奉仕団	タナカ電装
長崎医療センター	NTTドコモ長崎支店
大村市民病院	ドコモショップ大村中央店
大村市医師会	



「大村市東京事務所
再スタート」

長
ラ
ム
vol.27

このため、大村市では平成元年4月に大村市東京事務所を開設し、今年で25周年を迎えました。これまで5人の歴代所長が精力的に官公庁、企業回りを行い、パイプラインづくりや情報収集、要望などの調整、首都圏在住の本市出身者の支援などを実行してきました。

平成15年頃には、市の財政状況が悪化し、経費節減のために東京事務所を廃止すべきとの意見もありましたが、事務所の重要性を訴えて、何とか今日まで存続していました。

来年度からは、五島市と共同で、広い事務所を開設する予定です。スタッフも充実させ、これまで以上に大村市の特色や魅力を全国へ発信するとともに、大村市に関わりのある皆さんに気軽に利用していただける事務所を目指しています。皆さんも、上京されたおりには、ぜひお立ち寄りください。

日本国民が待ち望んだ2020年五輪の東京開催が決まりました。日本でオリンピックが開催されるのは、前回1964年(昭和39年)の東京オリンピック以来、実に56年ぶりとなります。当時の私は、政治家を目指して東京の大学で学んでいました。奇しくも10月10日の開会式当日に、私のもとに届いた米国スタンフォード大学への交換留学生派遣決定の知らせの喜びとともに、雲ひとつなく澄み切った青空に浮かぶ五輪のマークを今でも鮮明に覚えています。

江戸時代から東京は日本の中心として栄え、今でも政治経済の中心として日々発展を続けています。國の方針を決める国会と国會議員、國の省庁が集まり、膨大な情報も集まっています。